

平成25年度 第4回社会教育委員の会議

- 1 開催日時 平成25年12月18日(水) 14時00分～15時20分
- 2 開催場所 教育センター コミュニティホール
- 3 出席委員 15名  
廣瀬委員長, 駒場副委員長, 宇賀神委員, 今井委員, 福田委員, 櫛淵委員, 荻野委員,  
橋本委員, 清島委員, 勝田委員, 伊藤委員, 小池委員, 河田委員, 佐々木委員, 山尾委員
- 4 会議の公開・非公開の別 公開
- 5 傍聴者 0名
- 6 議 事
  - (1) 報告事項
    - ① 「社会総ぐるみによる人づくり」の合言葉について
    - ② 「第6回うつのみや人づくりフォーラム」及び「第6回うつのみや地域教育メッセ」の開催について
    - ③ 「うつのみや人づくりフォーラム」に係る団体紹介について
  - (2) 協議事項
    - ① 「社会の要請」の高まりへの今後の対応について
  - (3) 意見交換
    - ① 関東甲信越静社会教育研究大会(栃木大会)について

7 発言の要旨

廣瀬委員長	みなさんこんにちは。それでは、本日の議事を進めさせていただきたいと思えます。報告事項①、「社会総ぐるみによる人づくり」の合言葉について、事務局から説明をお願いします。
事務局	【資料について説明】
廣瀬委員長	社会教育委員にも投票してほしいという依頼がありましたが、せっかくですから、今日この場で投票してもらうのが一番効率的だと思います。投票用紙を用意してもらい、皆さんに協力いただくということでよろしいですか。帰りに全員投票しましょう。この公募作品は、なかなか良い作品が5つ並んでいますが、皆さんご意見ございませんか。よろしいですか。それでは、報告事項の1については、この後私たちが投票するということが、了承したいと思います。よろしくをお願いします。

それでは次に、「第6回うつのみや人づくりフォーラム」及び「第6回うつのみや地域教育メッセ」の開催について、事務局から説明をお願いします。

事務局

【資料について説明】

廣瀬委員長

人づくりフォーラムと地域教育メッセ、同時開催で、南図書館で実施します。このことについて皆さん、ご意見・ご質問ございませんか。例年参加されている方、ご意見ありましたらお願いします。

橋本委員

私は、去年までは、人づくりフォーラムの委員として参加したのですが、会場は宇都宮の中でも南の部分になるかと思えます。宇都宮の広さから考えると、北、西、東の参加者が、南へ行くのは大変だということで、「中心部で開催できないか」という意見や、または「持ち回りで開催した方がいいのではないか」という意見が出ていたと思うのですが、その点に関して、どのようにお考えでしょうか。

廣瀬委員長

今後の会場の見通しについて、事務局から何かお考えがありましたらどうぞ。

事務局

先日、人づくりフォーラム推進委員会の方で検討を行いまして、今、橋本委員からお話がありました、他会場での実施ということにつきましては、27年度には、そのような形でできないかということで、検討していきたいと考えております。

廣瀬委員長

南図書館は新しくできたものですから、南図書館の周知ということもあります。あるいは宇都宮工業高等学校も新しくなりましたし、そこをコラボレーションしていろいろなことができるという可能性もあり、当面、宇都宮工業高校と南図書館でユニークな事業を展開いただいたのですが、そろそろ他の地域の順番にしてもいいのではないかというご意見もあるようです。事務局にはそれも含めて検討していただくということでございますが、よろしいでしょうか。他に、メッセに参加したことのある方で感想がありましたら、発表していただけますか。

櫛淵委員

色で性格が分かるというような、占いみたいなものが出展してきたと思うのですが、そういうのも教育に関係するのかなという感じがしました。

会場の問題については、人づくりフォーラム推進委員会で大分意見が出ました。宇都宮工業高校が出展しているので、ロボットを作るのに男の子が、1時間も受付で待っていました。こんなにも興味を持っているんだなと感じまして、宇都宮工業高校の協力が得られるのは良いのではないかな

と思います。

廣瀬委員長           その他，フォーラムやメッセについて，何かご意見ある方はいらっしゃいますか。

駒場委員           メッセについての資料の内容の（５）で，メッセ会場案内の説明の中に，来場者への積極的な声掛けとありますが，もう少し積極的に動いていただければいいのかなと，そんなイメージを持ちました。どうお考えなのかお聞かせ願いたいです。

廣瀬委員長           事務局の方で，来場者に対する積極的な声掛けということで，具体的に誰がやっているのかも含めて，どんな状況なのか，ご報告いただけますか。

事務局           地域教育指導員と生涯学習指導員が主に学習相談を承っておりまして，案内や説明をさせていただいているところですが，今のご意見をいただきまして，今年はまだ積極的に皆さんに気さくに，明るく呼びかけるようにやってまいりたいと思いますので，どうぞよろしくお願いいたします。

廣瀬委員長           よろしくをお願いします。目立つように工夫すると良いかもしれませんね。その他，ご意見ございませんか。それでは，メッセ・フォーラムについて，これで了承したいと思います。よろしくお願いいたします。

報告事項③，「うつのみや人づくりフォーラム」に係る団体紹介について，説明をお願いいたします。

事務局           【資料について説明】

廣瀬委員長           人づくりフォーラムにおいて，社会教育委員という一つの団体の紹介をするということで，このようなメッセージを事務局で作成していただきました。そのことにつきまして皆さんご質問やご意見ございますか。皆さん全員のお名前が掲載されることとなりますが，よろしいですか。それでは，特に異議がないようなので，この原案通りで了承したいと思います。よろしくお願いいたします。

それでは，次に協議事項に移りたいと思います。協議事項，「社会の要請」の高まりへの今後の対応について，事務局から説明をお願いします。

事務局           【資料について説明】

廣瀬委員長           社会の要請の高まりにどのように対応するかということについて，我々社会教育委員の方で意見を言うということです。その意見も言い放しなのではなく，行政の方でそれをきちんと受けとめてくれるということは今

説明してくれたと思います。我々社会教育委員の会議で色々なことを言っても結局何も変わらないではないかということではなくて、きちんと生涯学習推進本部で検討していくという流れを明確に説明していただいたわけです。これらのことについて、何か質問やご意見ございませんでしょうか。具体的に社会の要請としてどんなものがあるのかという議論については、今日は行いません。これは26年の5月から議論をしていきたいということです。その議論はこのようにして調査をしたり提言したりしながら、最終的に生涯学習推進本部に報告されるということになるかと思います。今まで曖昧だったわけではないのですが、明確にしたということです。そういう説明だと思います。よろしいですか。

それでは、協議事項について、原案通り了承するという事でよろしいですか。では、これで了承したいと思います。

では、次に3番目、意見交換であります、「関東甲信越静社会教育研究大会（栃木大会）」について、事務局から説明をお願いします。

事務局

【資料について説明】

廣瀬委員長

それでは、今日出席した委員の方々、ほとんど大会に出席していただいていると思いますので、一言ずつ感想を發表していただきたいのですが、いかがでしょうか。

宇賀神委員

私は1日目の全体会の方に参加させていただきました。感想ということで2点ですけれども、シンポジウム等の中で、社会教育主事のことが話題になっておりまして、社会教育の重要性が高いと言われていますが、社会教育主事の重要性があまり高まっていないというご指摘があったところです。話をお聞きすると、行政によっては社会教育主事の方がいらっしゃる所もあるとお聞きしました。栃木県の状況を学事関係職員録で拝見し、県・宇都宮市、共にそういった条件整備がしっかりされているということが研究大会に参加して分かったところです。2点目ですけれども、シンポジウムの中で、壬生町の池教育委員長から中学生による地域活動の推進というお話を伺うことができました。社会教育というと中学校は関わる機会が少ないと思っていたのですが、決してそんなことはなくて、壬生町では中学生が公民館の行事に企画・運営から主体的に参加されているということでした。2日目の分科会には参加はいたしませんでした。研究大会の要綱を拝見したところ、中学生が主体的に関われるように、大人の関わり力が重要だと出ておりました。本校でも、地区の体育祭などにおいて中学生にいろいろな役割をいただいて参加しておりますけれども、こうした場面で、地域の方の関わり力が活かされていると感じたところです。以上2点です。よろしく願いいたします。

廣瀬委員長

最初に私が、「あなたの街に社会教育主事はいますか」という、質問を投げかけまして、いない所も結構あったようで、みんな慌てていたようです。こちらは宇都宮ですから、8人もいるので胸を張っています。宇都宮に発令されている者が8名いますと言ったら、一緒に登壇していた国立の社会教育実践研究センターの所長さんもとても驚いていました。社会教育主事の発令を少なくしている所が圧倒的に多いのに、この時期に増員するというのは、素晴らしいことだと、私も胸を張って言いました。すっかり自慢できました。それでは、今井委員、いかがでしょうか。

今井委員

全体会と2日目の第一分科会に出させていただきました。地域を主体とする世代間交流とそこから発生する学び返しということなのですが、発表された調布市の方が調布市で行われるすべての行事、祭りとか、そういうところの調整役という感じでした。社会教育委員の方が積極的に参画しているとのことでした。その後、他の地区の社会教育委員の方と話をしたのですが、なかなかそこまで積極的に入っていくのは難しいという話になりました。会議の時に年に1回出るだけという所もありました。調布市の方は関わっていくことが社会教育委員の役割だということで、自分たちでやっていくという気構えで発表されていたので、皆が圧倒されているような感じでした。理想は高いですが、それをやっていくのがすごく難しいので、ある程度の時間と計画を立てて、作っていかねばならないということを感じました。とても素晴らしい活動だったのですが、それを真似するのではなくて、少しでもエキスをいただければなという思いで聞かせていただきました。良い刺激になりました。

清島委員

両日とも参加させていただきました。大変ありがとうございました。2日目は第二分科会ということで中学生による地域活動の推進という形で、分科会に参加してまいりました。やっている内容は素晴らしいことではありますし、内容に値するなと感じたところではあるのですが、発表こそなかったものの、私の近所の豊郷中学校では、近くの古墳の掃除を地域の団体の方々と一緒にやっています。その後、カレーライスなどを食べて、地域の方々と交流をもっているということもあります。宇都宮も捨てたものではないと思いました。あと最近、実際に社会教育団体としての表彰も受けた宝木中学校は、「断郊競歩」という活動をやっております。何キロかを長時間かけて歩き通すというものです。そして帰ってきたら餅つきなどの活動をしているということです。そういった所に焦点が当たれば、今回以上の分科会の発表となるのではないかなと若干考えたところでした。それから先程、学び返しという言葉がありましたが、この大会の少し前に尾木直樹先生の話聞く事がありまして、その講演の中で学び返しをヨーロッパ、北欧の方々は、歳をとってからやるということでした。なぜなら、学校を一通り出て、その後大人になってから職業を持つと思うのですが、職業を

リタイアした後、もう一回大学に行くそうです。そういった形で教育を二回受けることが出来るのは、教育が無料だからというのもあると思いますが、ある程度、歳をとってから学び返しが出来ると、またそこから地域に教育を還元できるのではないかといいところで、我々社会教育委員も、学び直しのつもりで、こうした大会に関わっていければ、地域に還元が出来るのではないかといいことを非常に思った次第です。我々の委員としての重さが問われるのかなと思いました。

橋本委員

私は一日目に参加させていただきました。私は宇都宮市で掲げております、地域教育プランに基づく地域の現状が、どのようになっているかということをお私の方から話させていただきたいと思っております。地域といっても、小さくは小学校、中学校、連合自治会の地域であることや、大きくは宇都宮市全部の地域であるということになると思っておりますが、この中で小さい小学校、中学校がある地域について、話させていただきたいと思っております。学校においても、地域協議会や留守家庭の子どもたちを預かる宮っ子ステーションが設置されていて、その中には、各地域の、多方面で活躍されている方たちが入っておりますので、地域の方々が学校に協力しながら子どもたちを育成するという良い仕組みができていると思っております。また、小学生においては、私たち子ども会が関わっておりまして、学校の授業では出来ないことを学んでいただいて、それが子どもたちの教育にも役に立っているのではないかなと思っております。総合的に見ても、小学校、中学校においては、地域で子どもを育てるといような教育目標を達成しているのではないかなと思っております。また、地域の行事やボランティア活動に子どもが参加することによって、地域が活性化され、また、良いまちづくりができるのではないかなと感じております。しかし高校となりますと、広い地域から通学しておりますので、地域に密着する、地域で育てるといことはなかなか難しいと思っておりますが、そんな中、私たち子ども会連合会では、組織の中にリーダークラブを設けておりまして、高校生も活動に組み込んで、地区の行事の手伝いや市の行事の手伝いをし、大きい目で宇都宮市という大きな地域の活動に参加させていただいております。

また、地域によっては、指導者となっただけの人材が不足しているということをよく聞きます。私たちの地域の高校生のジュニアリーダーが大きくなって、大学を卒業してシニアリーダー、また、その方たちが指導者、育成者となって、将来は地元に戻ってきて、地域のリーダーとなって活躍してくれるような、そういう形になればいいかなと思っております。それに、高校生からではなく、もう少し若い中学生については、インリーダーというのですが、インリーダーから高校生のジュニアリーダーに参加していただいて、経験を多く積んでもらうような体制づくりをしていきたいという考えを持っております。以上、今回の研修を踏まえて、感じたことを述べさせていただきました。よろしく申し上げます。

荻野委員

私は第一日目に参加させていただきました。私は今回、初めての参加なのですが、記念講演の二宮尊徳氏の末裔である二宮家の当主、二宮康裕氏の謙虚な講演を聴いて感動いたしました。まず冒頭に、私の祖先がこの地、今市地域でお世話になった旨の挨拶を聞いた時に、非常に感動いたしました。私は二宮尊徳が神奈川の小田原から下野の国に来て、そして、特に農業土木、灌漑等を指導された、あの豊かな水が、今の心に繋がるというのでしょうか、大きな情緒の栄養をいただいたという感動でございます。

私は宇都宮の文化協会からこちらに参加させていただいているわけですが、実は専門は音楽の道でありまして、現在10団体にあまる合唱団の指導をしておりますが、その合唱団員に二宮氏の講演の感動をずっと話してまいりました。宇都宮市民の皆さんにも聴いていただくような機会があったらうれしいなと思った次第です。

楢淵委員

私は二日間参加しました。二日目の分科会のことなのですが、今井委員と同じ分科会に参加しました。調布市の方のお話を聞きましたが、あそこまで大々的ではないけれど、私たちも宮の原地域として一条中学校の生徒や宮の原小学校の児童も交えて体育祭・文化祭、防災訓練、年末にはクリーンアップということで活動しまして、全部で八十数名の子どもたちの参加がありました。そして参考になったことは、プールの周りのタイルとタイルの間にもものすごく草があるのですが、その草の取り方が私たち素人だとカマを一生懸命入れてもなかなか取れないのに、老人会から参加された方が「こういう所はこうやってやるんだよ」と、草の取り方を教えてくれて、子どもたちもすごく参考になったと思います。一人より二人とはこのことだね。ということが分かりました。調布市ほどの大きな規模ではなくても、小さな地域では、同じようなことをやっているということを感じました。以上です。

伊藤委員

二日間とも参加させていただいて、貴重な時間を過ごせたなと思っております。二日目は壬生町の青少年の健やかな成長というところに参加させていただいて、とても素敵な良い発表を聞かせていただきました。その後意見交換になりまして、「社会教育にどんな立場で参加されているのですか」ということを皆さんから聞かれまして、私は宮っ子ステーションという所のコーディネーターです。と話したら、皆さんすごくご興味を持たれてまして、どんな活動をしているのかという質問をされたので、宇都宮の自慢などもさせていただきました。一番子どもたちと近くにいる活動をさせていただいている社会教育委員なのかなと思い、色々な方に自分の活動の話させていただきました。感想としましては、本当に色々な立場の方が社会教育委員として参加されていて、それをうまく具合に活用できるような集まりが出来たらいいなと感じました。ありがとうございました。

廣瀬委員長

皆さんの実践は、とてもすばらしい活動ですので、いろいろな所で発言をして宇都宮市のPR、自慢もしていただくということは良いことだと思います。

小池委員

私は、第5分科会に参加させていただいたのですが、川島町の社会教育委員さんが、まちの姿勢に疑問を感じ、社会教育委員の役割について改めて研修をしたこと。事務局から提示された資料をだた承認するのではなく、積極的に意見を言うこと。地域に根差した地域の求めるものは何なのかという調査研究、情報収集を手弁当で年34回の会議を開催し、進めていったという話から始まりました。活動の裏側には、キーマンとなる方がいらして、その方が様々な所へ足を運んで行って巻き込んでいく。その巻き込み方についての発表をされたのですが、涙ぐむような場面もありながら発表をされました。一番参加人数が多い会場であり、その後の情報交換は非常に熱の入った情報交換になりまして、各グループ4~5人で話し合っていたのですが、質問内容も深いところまで入り込んで質問をされる方もいて、すごく勉強になりました。活動を進めていく上で、過去のものを生かしながら新しく取り組んでいくという熱意と情熱に、多くの方が感動していたと思いますので、これからの自分や、これからの会議の役割などについて、自分なりに感じるころのあった分科会でした。

河田委員

私は初めて大会に参加させていただきました。まず、日光に行き、たくさんの方と会いました。行政の方もそうでない方も、良く知っている人達がたくさんいました。考えてみると、教育関係で活躍されている人はいつも同じなのかなというくらい、どこへ行っても顔を見かけます。社会教育という形でこんなに多くの方が携わっているのだと感じました。

しかし、こんなにたくさんの方が関わっているが、どのくらい社会教育が発展しているのかと考えたときに、昔に比べて色々な組織や場面など、社会教育の環境が行政によって、整えられてきているものの、昔の方が、環境はなくとも、もっと人と人との関わり合いがあったような気がする。

環境はどんどん行政によって作っていただいて、こういう会議の場で色々なことを話し合っ、色々な環境を整えているにも関わらず、人間関係は逆にだんだん薄れている。

研究大会に参加した時に、こんなに活躍されている人がいる、でもこれをもっと生かすためにはどうしたらいいのだろう。もっとつながるためにはどうしたらいいのだろう。そういう課題を感じておりました。

例えば、私はスポーツをやっていますから、スポーツの関係では少年スポーツクラブで、ものすごく色々な関係ができています。しかし、スポーツ嫌いの子が増加してきている。私は今、スポーツ振興課とも関わっているのですが、こんなに環境が良いのに、何故こんなにスポーツ嫌いの子が増えていくのだろう。その問題に近い感覚で、考えさせられた社会教育研究



大会でした。

こんなに頑張っているのに、昔は地域がもっと固まってやっていたのに、「隣は何をする人ぞ。」というのは東京だけの言葉だと思っていたのが、今は田舎でも、隣の人が分からない。このようなコミュニティの希薄化をどうしたらいいのだろうかということで、課題を突き付けられた場面でした。

駒場副委員長

私は初日に参加させていただきましたが、パネルディスカッションの中で壬生町さんと鹿沼市さんの取り組み、まず立ち上げの前からと、後は運営してからのご講義について、拝聴させていただきました。私も地元でリサイクル推進員という立場で地域の美化活動、子どもたちの社会教育の観点からクリーン大作戦ということで4回ほどやらせていただいているのですが、まずは出来ることから、地域から始めようという思いでやらせていただきまして、今後はもっと拡大できればと思っています。壬生町さんと鹿沼市さんの良い取り組みを聞かせていただいて、参考になったと思っております。今後も参加できれば積極的に参加していきたいと思っております。以上でございます。ありがとうございます。

廣瀬委員長

関東甲信越静社会教育研究大会栃木大会に参加されている方で指名していない方はいませんか。それでは、行政から代表で一人、参加した感想を述べていただきたいと思っております。

事務局(間中)

生涯学習課間中と申します。私、大会の次第にもございます通り、パネリストとして普段では上がれないような舞台の上で600人の観客の皆さんがいらっしゃった中で宇都宮市の自慢をさせていただきました。私が話した内容は、地域教育、地域ぐるみで進める社会教育を宇都宮市ではやっていますということ、また、社会教育行政が自前主義でこれまでやって来たところを、今の社会教育はそうではなくて、庁内の色々な部局と連携・協働していかないと立ち行きならないというようなところを話させていただいて、そのためにはやはり社会教育主事という専門的な職員、つなぐ力を持った職員が必要だというような内容も話させていただきました。また、社会教育委員さんとの関係構築というのでしょうか、良好な信頼関係を築くということも最後に少し触れさせていただいたのですが、私、どうしても委員さんと事務局という関係上、やはり皆さんの顔を見ると、多少ドキドキしてしまうのですが、この大会で皆さんがお昼を食べている時に、私が講師控室に居づらくなってしまって逃げるように出て来た時に、「頑張ってね。」と声をかけていただいて、本当に泣きそうになるくらい感動しまして、お兄さんやお姉さんやお父さんやお母さんがいっぱいいるように感じました。それ以来、今まで顔を見るとドキドキしていたのが、今日は受付の所で皆さんをお迎えしたときに、むしろホッとする顔ぶれになったというのでしょうか。失礼なことを言っているかもしれないのですが、

そういう変化がありまして、大会の内容とは全然関係ないのですが、すごく貴重な経験をさせていただきました。ありがとうございました。

廣瀬委員長

予定されていた議事は以上でございます。進行を事務局に戻したいと思います。皆さんご協力ありがとうございました。

事務局

廣瀬委員長，ありがとうございました。それでは，次第に基づきまして，3のその他でございます。まず，「うつのみや人づくりフォーラム」につきまして，追加のご説明がございますので，事務局から説明申し上げます。

事務局

先程フォーラムの説明の際，橋本委員から会場の変更等ということでご意見をいただいたところでございます。補足説明といたしまして，今後のフォーラムにつきましては，今年度で第6回ということになりますので，会場も含めまして，開催日時，内容も検討してまいりたいと考えております。また，合言葉の投票用紙を机上に配布させていただきました。投票用紙に記入していただきまして，お帰りの際に投票いただければと思います。よろしく願いいたします。

事務局

次回の会議の日程でございますが，年明け平成26年の2月4日の午後2時を予定しております。また近くなりましたら，ご案内を差し上げたいと考えております。

事務局

長時間に渡りご審議いただきまして，誠にありがとうございました。それでは以上をもちまして平成25年度第4回社会教育委員の会議を閉会いたします。大変お疲れ様でした。ありがとうございました。